
[成果情報名] ブドウ晩腐病菌 (*Colletotrichum acutatum*) の選択培地

[要約] *Colletotrichum acutatum* 用の選択培地 (ストレプトマイシン硫酸塩 200mg , ジャガイモ 200g の煮汁 , 寒天粉末 18g / 1L , イミノクタジン酢酸塩 10 ~ 100ppm) を開発した。本培地はブドウ晩腐病の発生圃場において , 樹上から滴下する雨水中のブドウ晩腐病菌 (*C. acutatum*) の分生子を効率的に検出できる。

[キーワード] ブドウ , ブドウ晩腐病 , *Colletotrichum acutatum* , 選択培地

[担当部署] 病害虫部 病害チーム

[連絡先] 092-924-2938

[対象作物] 果樹

[専門項目] 病害虫

[成果分類] 研究手法

[背景・ねらい]

ブドウ晩腐病の感染源となる樹上病斑からの分生子の溢出消長を明らかにすることは本病の発生生態の解明や効率的な防除を行うために重要である。本菌の分生子は長楕円形 , 無色 , 単胞で形態的な特徴が少なく , 顕微鏡観察では本菌の特定が困難である。

そこで , 本菌の選択培地を作製し , 調査精度が高く , 熟練を必要としない調査方法を確立する。

[成果の内容・特徴]

1 . ストレプトマイシン硫酸塩含有 PA 培地 (ストレプトマイシン硫酸塩 200mg , ジャガイモ 200g の煮汁 , 寒天粉末 18g / 1L) にイミノクタジン酢酸塩を有効成分で 100ppm あるいは 10ppm を含む培地上で , *Colletotrichum acutatum* の分生子を培養すると , 特徴的なコロニー形態と橙色の分生子塊が見られる (表 1 , 図 1) 。

2 . 本選択培地により雨水中から検出できる孢子数は , 光学顕微鏡観察による検出数と同等以上で検出精度が高い。このため , 本選択培地は孢子溢出調査に実用的に使用できる (表 2) 。

[成果の活用面・留意点]

1 . *Colletotrichum acutatum* の分生子の飛散調査が容易になり , ブドウ晩腐病以外にも本菌による病害の調査に応用できる。

2 . ブドウ晩腐病に関与する菌は 2 種存在し , もう 1 種の菌である *Colletotrichum gloeosporioides* は本選択培地では生育しないため , 新たな選択培地が必要である。

